

ビジョン2025\*の実現に向け、将来にわたって組合員のくらしに貢献し続けられるよう、事業と活動を通じてさまざまな取り組みを進めました。

▶ **コープデリ宅配事業** 「つかうほど、じぶんらしく。」を基本メッセージとして、コープのファンづくりをさらに進めました。

- ・「コープデリミルクキット」や乳幼児食シリーズ「きらきらステップ」のテレビCMで、多くの方にコープの良さや価値をお伝えしました。
- ・ポイントがさらにたまりやすくなった「ポイントステージ制」や、商品案内のリニューアルなど、一人ひとりの組合員のニーズに合わせた改善を進めました。



▶ **コープデリ店舗事業** 「おいしさと安心を、うれしい価格で。」の取り組みを深め、くらしの変化に対応した品ぞろえと売り場づくりを進めました。

- ・店舗改装と2019年度に予定している新規店舗の開設準備を進めました。
- ・スマートフォンアプリ「お店ナビコープデリ」を開発し、お得なクーポンの配信や、宅配のみで扱っている商品もお店で受けられるようにしました。
- ・2018年10月より、宅配・お店のポイントをどちらでも使えるよう、宅配のインターネット注文「eフレンズ」で申し込めるようにしました。



▶ **商品・品質保証の取り組み**



- ・コープデリ連合会では商品検査センターをリニューアルしました。検査の様子を見学いただけます。
- ・産直原料を使用した商品など、コープデリならではの特徴ある商品の開発や取り扱いを進めました。

▶ **福祉・保障・サービス・電気小売事業**

・福祉事業は、ケアプラン作成・ホームヘルパー派遣・デイサービスを中心に、在宅での介護サービスの提供に取り組みました。小規模多機能ホーム「コープ夢みらい北本」を3月に開設しました。



- ・CO・OP共済などの保障事業、チケット販売・エアコンクーリングなどのサービス事業、電気小売事業「コープデリでんき」に取り組み、組合員のくらしに貢献しました。

※「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」という2025年のコープのありたい姿

第1号議案

2018年度事業報告承認の件

コープで  
広がる、  
つながる

# 第7回通常総代会 議案ダイジェスト

コープみらいは6月6日(木)に第7回通常総代会を開催します。通常総代会は、組合員の代表である総代が参加し、コープみらいの年度方針などの重要事項について意思決定を行う会議です。第7回通常総代会で議決をいただく議案をダイジェストでお伝えします。

## 総代会ってなあに？

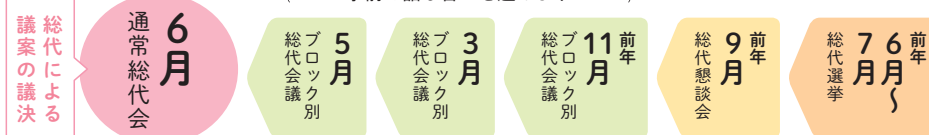
コープは、「こんな商品が欲しい!」「こんなサービスがあったらいいな」という声を実現するために、組合員が出資し、利用し、組合員自身が主人公となって運営に参加する組織です。事業の計画なども組合員が決定します。

しかし、コープみらいの組合員347万人が一度に集まるのは困難なため、地域ごとに組合員の代表である「総代」を選び、選ばれた総代が参加する「総代会」を開いています。年1回、6月に開催するのが「通常総代会」。1年間の事業や活動はどうだったのか振り返り、「次の1年、どんな事業や取り組みを行うか」という方針や予算などを決定します。

通常総代会に向けて、地域ごとに話し合いを進めています

総代の任期は1年。千葉県・埼玉県・東京都の各地域(22のブロック)で開催するブロック別総代会議決で、6月の通常総代会に向けた話し合いを進めます。

通常総代会に向けてブロックごとに事前の話し合いを進めます



事業と地域での活動が連携し、くらしと地域づくりを推進しました。

多様な参加の場を活かし、コープの良さ・価値を伝える取り組みでコープのファンづくりを進めました。

### ▶「食」の取り組み

商品利用を通じて持続可能な社会の実現を目指す活動に取り組みました。10周年を迎えた「お米育ち豚プロジェクト」では、レシピの募集や試食などさまざまな企画を行いました。



### ▶「くらし」の取り組み

コープデリグループで食の生産体験や産地体験など、食育・子育てで応援に取り組みました。この活動が評価され、第12回キッズデザイン賞で消費者担当大臣賞を受賞しました。



### ▶「つながり」づくりの取り組み

2018年度に発生した災害では、被災地・被災者支援のための緊急募金や、職員ボランティアの派遣に取り組みました。

西日本大雨災害緊急支援募金 1億4,967万4,071円

北海道胆振東部地震緊急支援募金 9,423万5,173円

地域に開かれた笑顔あふれる居場所「みらいひろば」を開催しました。誰でも気軽に参加できる場を目指しています。



コープみらい財団では、高校生を対象とした返済不要の奨学金給付事業を開始しました。「奨学金応援サポーター募金」に1万2,000人を超える組合員に登録いただき、2018年度は110人の奨学生に給付を行っています。

### ▶持続可能な社会づくりに向けて

ビジョン2025や国連の「SDGs（持続可能な開発目標）」の実現に向けて、地域を豊かにする取り組みを進めました。千葉県・埼玉県・東京都の全自治体と、高齢者等の見守り協定を締結しました（島しょ部を除く）。



「人に優しく、働きやすい職場づくり」を推進し、健全な経営組織を目指しました。コープデリグループの一員として、連帯を推進しました。

「働き方改革」をテーマに職員同士が話し合うなど、事業の成長性を確保しながら多様な働き方が実現できるよう取り組みを進めました。



#### ■ 損益の状況 (2018年3月21日～2019年3月20日)

	実績
総事業高	3,909億 3,788万円
供給高*	3,790億 9,953万円
宅配商品供給高	2,659億 392万円
店舗商品供給高	1,103億 9,809万円
経常剰余金	55億 1,456万円
組合員数	347万 561人

#### ■ 資産・負債・純資産の状況 (2019年3月20日現在)

資産の部		負債の部	
流動資産	755億 2,127万円	流動負債	543億 4,018万円
		固定負債	86億 1,936万円
固定資産	1,272億 8,842万円	純資産の部	
		出資金	665億 9,490万円
		剰余金	732億 5,523万円
資産合計	2,028億 969万円	負債・純資産合計	2,028億 969万円

各項目の金額は、単位未満を切り捨てているため、内訳の計と合計は一致しない場合があります。

■ 出資配当金 出資配当金は、0.2%とします。(出資配当金の支払いは、出資金増資によって実施します)

## 第2号議案

### 2019年度事業計画・予算設定の件

食を中心とした事業と活動を通じて、多くの方に共感いただき、コープのファンになっていただける取り組みを進めます。将来にわたりにくらしや地域に貢献できる取り組みを通じて、ビジョン2025とSDGsの実現を目指します。

#### ■ 2019年度損益予算案

総事業高	3,992億 3,590万円
供給高	3,864億 5,745万円
経常剰余金	22億 5,000万円

10月に予定される消費税増税では、組合員・消費者の家計への負担が大きくなるのが予想されます。組合員の視点に立ち、商品・サービスの提供を通じてくらしに貢献します。

**商品・品質保証**：食の「安全と安心」を第一に考え、生産から消費までのフードチェーン全体で安全性確保に取り組みます。

**コープデリ宅配事業**：「いい商品がたくさんあって選べるからいい、使って（いて）良かった」と感じていただくことを目指します。商品カタログ配付方法の変更など、組合員がより利用しやすい誌面に改善します。

**コープデリ店舗事業**：組合員のくらしに貢献して損益構造の改善に取り組みます。新規3店舗の開設や改装を進めます。

**福祉・保障・サービス・電気・都市ガス供給事業**：福祉事業は、住み慣れたところで自分らしく暮らせるよう、在宅での自立支援サービスの提供を強化します。保障事業は、CO-OP共済などを積極的に推進します。サービス事業は、くらしにあった企画と確かな品質で満足いただけることを目指します。電気小売事業は「コープデリでんき」をさらに広め、また東京ガス供給エリアで都市ガス供給事業「コープデリガス」を開始します。

**協同の力で進めるくらしと地域づくり**：事業と地域での活動を連携し、より豊かなくらしと地域づくりを推進します。

**人と組織づくり・連帯推進**：「人に優しく、働きやすい職場づくり」を実現します。コープデリグループの一員として連帯を推進します。

## 第3号議案

### 役員選任の件

定款第19条および役員選任規約に基づき、役員を選任することを提案します。

第7回通常総代会の開催報告は、『コープみらい』8月号に掲載します。